

<報道資料>

2011年10月18日
テーラーメイドゴルフ株式会社

ツアー使用率 No.1^{*1}、販売実績 No.1^{*2}を記録した「**R11**ドライバー」に続く快挙！
『**R11**アイアン』、販売数量 No.1^{*3}を達成！！
～「**R11**」シリーズが市場を席卷！～

テーラーメイドゴルフ株式会社(本社:東京都江東区/代表取締役社長:菱沼信夫)が2011年9月より発売開始している『R11 アイアン』が、2011年1月以降に発売された新製品として9月度における販売数量No.1を記録^{*3}。国内男子ツアー使用率 No.1^{*1}、販売数量 No.1^{*2}を記録している『R11 ドライバー』に続く快挙を達成しました。

『R11 アイアン』は、クラブヘッドに斬新な“白”のクラウンを新たに採用し、世界中のツアーを席卷している『R11』シリーズ待望のアイアンとして登場。すでに『日本プロゴルフ選手権大会 日清カップヌードル杯』で初タイトルを獲得した河井博大が使用するなど、ツアープロはもちろんのこと、アベレージゴルファーまで幅広いゴルファーに優れた操作性と高弾道で大きな飛びを提供します。

今後もツアーのみならず市場からも高い評価を獲得している『R11 ドライバー』と共に、『R11』シリーズとして市場を席卷し、多くのゴルファーの期待に応えていきます。



*1:使用率はダレル・サーベイ調べ(2011年4月14日～10月17日)

*2:2011年1月1日～9月30日における全国有カゴルフ用品取扱店販売実績月次データに基づく、ドライバー、シリーズ別販売数量、販売金額においてNo.1(「GfK ジャパン」調べ)

*3:2011年1月以降に発売された新製品において、全国有カゴルフ用品取扱店販売実績月次データに基づくアイアンの9月期シリーズ別販売セット数No.1(「GfK ジャパン」調べ)

【『R11 アイアン』とは】

『R11 アイアン』ではフェース厚、フェースレングス、アンダーカットキャビティなど各番手に必要とされる最適な機能を追求し、番手毎に専用設計をするフローデザインを採用。多くのゴルファーに優れた操作性と高弾道で大きな飛びを提供します。また、すべての番手においてワイドソール設計による低重心化を施しながら、あらゆるライにおいて振り抜きの良さ操作性の高さを提供します。さらに精巧な重心位置コントロールを実現する新構造「PWP(Precision Weighting Port:プレジジョン・ウエイティング・ポート)」^{*4}を搭載し、重心位置の真後ろに「PWP」を施すことで、設計上の重心位置と実際の重心位置のズレを抑制。フェース面には新設計の溝形状を採用することで、従来の溝と比較しラフからのショットにおけるスピン量の向上を実現しました。

*4:「PWP ウェイト」は取り外しをすることはできません。

【TaylorMade Golf Inc./ テーラーメイド ゴルフ株式会社について】

TaylorMade Golf Inc.(米国)は 1979 年の創立以来、最高品質のゴルフ用品を提供する世界のゴルフシーンにおけるリーディングカンパニーです。1998 年にはアディダスグループの完全子会社となり、「アディダスゴルフ」ブランドのフットウェアおよびアパレルを中心としたラインナップも展開。2009 年には「アシュワース」ブランドのアパレルを中心としたプロダクトの展開を開始。

日本では 1986 年から事業を開始し、現在はテーラーメイド ゴルフ株式会社として「テーラーメイド」、「アディダスゴルフ」に加え、「アシュワース」ブランドを展開。ツアープロを始め、あらゆるゴルファーのニーズに応える幅広い製品を提供し続けています。

【アディダスグループについて】

アディダスグループはスポーツ用品業界をリードする世界的な企業です。同グループが抱える「アディダス」、「リーボック」、そして「テーラーメイド」を中心に幅広い製品を通して消費者のニーズに基づいた戦略的かつ相互補完的な発展を目指しています。